



荒砥・十王地区で町総合防災訓練 “もしも”の備えを再確認

10月14日、町総合防災訓練が荒砥小学校グラウンドを主会場に行われ、荒砥・十王地区の各自主防災会、消防団、荒砥小学校児童、町職員など約500人が参加しました。

訓練は、時間雨量90mmの大雨による河川の氾濫、土砂災害を想定した災害対策本部設置訓練からスタート。その後、水防訓練や災害資機材設置訓練、起震車体験など、訓練及び体験合わせて19項目が実施されました。地震や豪雨など、日本各地で災害の発生が後を絶ちませんが、参加者はいつ発生するかわからない“もしも”を想定し、緊張感を持って訓練に取り組みました。

1_災害救助訓練 2_災害伝言ダイヤル体験 3_火災防ぎょ訓練

ふるさとを思い、ふるさとを語る 第40回首都圏白鷹会総会を開催

10月28日、上野精養軒（東京都）を会場に第40回首都圏白鷹会総会が開催されました。

この日は会員約200人が参加したほか、町からも町長はじめ町議会議長及び議員、産業界の代表など17人が出席し、情報交換や交流が行われました。また、席上では役員改選が行われ、加藤栄助会長が勇退されて名誉会長となり、布川文一副会長が新会長に就任。さらに、鮎貝八幡宮獅子連による獅子舞も披露され、迫力ある厳かな演舞に「懐かしい」「久しぶりだ」とふるさとのまつりを懐かしむ声が聞かれました。

また、恒例となっている特産品の販売会も好評で、「故郷のものが懐かしい。毎年白鷹町の特産品を買うのを楽しみにしている」という参加者で賑わいました。



1_参加者を魅了した迫力ある獅子舞 2_特産品販売では「工房お富久呂」の漬物や「サンファームしらたか」の米や餅が大人気。農産物や農産加工品、白鷹銘菓等の販売を行なった観光協会ブースも賑わった



郷土の味を堪能する児童たち

ふるさと 郷土の味をこれからも—— 町内各小学校で郷土食伝承事業

恒例の郷土食伝承事業が、今年も町内4小学校の児童を対象に行われました。

この事業は、白鷹町食の文化街道連絡会議（樋口敏昭会長）が主体となり、郷土食の味とともに地場産農産物、自然、先人の知恵などを子どもたちに伝えるために毎年実施しているもの。10月26日には、鮎貝小学校の6年生28人が参加しました。児童たちは、芋煮や栗ごはんのおにぎり、冷や汁など、旬の食材をふんだんに使った郷土の味に舌鼓。料理をきれいに完食し、「作り方を覚えて、郷土の味をつないでいきたい」と笑顔で感想を話しました。

秋空の下ではつつっプレー 白鷹町でパークゴルフ東北交流大会

10月6～7日の両日、白鷹町ふるさと森林公園内の白鷹パークゴルフ場を会場に、パークゴルフ東北交流大会が開催されました。

東北パークゴルフ連盟（後藤吉蔵理事長）が主催する今大会には、東北6県から愛好者288人が参加。台風の影響が心配されましたが、競技は予定通り行われました。参加者はさわやかな汗を流しながらプレーを楽しみ、ホールを回りながら和やかに談笑するなど、パークゴルフをとおして地域を超えた交流を深めました。白鷹町からは17人が参加し、男子の部で居城哲夫さん（横田尻）が優勝しました。



はつつつと競技を楽しむ参加者

地域福祉への寄附に感謝

10月9日、白鷹きらやか会（鈴木重治会長）から社会福祉法人白鷹こぶし会（時田進理事長）が運営するこぶしの家へ4万円が寄附されました。

これは、9月に同会により開催されたゴルフコンペで参加者40人からチャリティーとして募ったもの。佐藤光雄副会長から目録を受け取った時田理事長は「施設利用者が活動するための道具や材料などの費用として、有効に使わせていただきたい」と感謝しました。



社会教育の振興等に 貢献された方々に表彰状



■山形県社会教育連絡協議会表彰

【公民館等表彰】十王地区コミュニティセンター

【社会教育関係職員表彰】金子孝吉さん（前蚕桑地区コミュニティセンター長）

■置賜社会教育振興会表彰

【優良社会教育団体表彰】白鷹学講座企画委員会（代表：横山和浩さん）

■須藤恒雄生涯教育推進基金表彰

【文化賞】古瀬敏弘さん（町体育指導員・スポーツ推進員永年功労）

梅津一郎さん（鮎貝小学校七五三子獅子舞指導永年功労）

加藤忠一さん（鮎貝小学校七五三子獅子舞指導永年功労）

【自治功労賞】佐藤文雄さん（西高玉分館書記・分館長永年功労）